

米韓軍事演習で

黄海に空母を派遣！

一切の戦争施策に反対しよう！

8月5日、米国防総省のモレル報道官は記者会見で韓国海軍哨戒艦「天安（チョンアン）」沈没事件への対抗措置となる米韓合同軍事演習に関して、米原子力空母ジョージ・ワシントン（GW）を黄海での演習に派遣する方針を明らかにしました。この演習に対して中国の反発は必至と見られ、日本近海での緊張が一気に高まることが予想されます。

GWの黄海派遣については米国は最初の米韓合同軍事演習でも検討していた模様ですが、中国が自国領海に近いと猛反発したことから、米国が日本海側で行うことで配慮した経緯があります。しかし、対北朝鮮政策で中国から十分な協力が得られないことから、GWの黄海派遣に踏み切ったものとみられ、モレル氏は、日本海側と黄海側で今後も継続的に米韓軍事演習が計画されていることを明らかにしたうえで、「GWは再び演習に参加するが、今度は黄海での演習に参加する」と明言しました。また、モレル氏は、北朝鮮が米韓軍事演習に反発していることについて、「演習は防衛的な性格のものだ。北朝鮮が脅威を感じる必要はないが、同時に（北朝鮮による）さらなる軍事的行動は看過されないということは明確にしておく必要がある」と強調しました。

この中国に対する挑発とも取れる米韓軍事演習について、未だに日本政府からは何ら見解が示されていません。これからの対応が注目されるところです。

私たちは、一切の戦争施策に反対です。これからも、平和な世界をつくるために、憲法9条を守り、広める運動を展開して行きます。



たしるかある議員と共に憲法9条を守り、平和な世界をつくろう！